

高知県教育委員会 会議録

平成22年7月臨時委員会

場所：教育委員室

(1) 開会及び閉会に関する事項

開会 平成22年7月7日(水) 16:00

閉会 平成22年7月7日(水) 16:15

(2) 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	教育委員長	河田 耕一
	委員	小島 一久
	委員	宮地 彌典
	委員	久松 朋水
	委員	北添 紀子
	委員(教育長)	中澤 卓史
欠席委員		なし

(3) 高知県教育委員会会議規則第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	東 好男
〃	教育次長	池 康晴
〃	子育て・親育ち推進監	佐藤 津矢子
〃	教育政策課長	黒沼 一郎
〃	高等学校課長	藤中 雄輔
〃	生涯学習課長	濱田 久美子
〃	教育政策課課長補佐	岡村 一良
〃	教育政策課教育企画担当f-7	中島 勝海(会議録作成)
〃	教育政策課主幹	田中 健(会議録作成)

(4) 議事の大要及び教育長等の報告の要旨

【冒頭】

委員長 7月臨時委員会を開催する。

教育長 (提案説明)

【付議第 1 号 県立高等学校再編計画第 3 次実施計画の実施時期の変更に関する議案
（高等学校課）】

○高等学校課長説明

○質疑

委員	学科改編にあたっては学校側の十分な検討が必要であるが、伊野商業高等学校の場合、学科全体を改編しようとするものであり、商業の教員だけで検討して良いのか、視野が狭くなることにならないか懸念する。将来の商業高校のあり方も見据えて、県教育委員会で決定すべき。学科改編は県教育委員会が決めるということを学校側に十分説明しておいてほしい。
事務局 委員	学校の案も踏まえながら、県教育委員会が主体的に取り組みたい。委員の意見に賛同する。プロジェクトチーム等において、農業や工業の方など、別の視点を持つ人材を最初から入れて検討すべきである。また、現場が提案した内容を県教育委員会が却下するという構図になるのを懸念するので、ぜひ検討段階から県教育委員会も参加してもらいたい。
事務局	工業高校の場合など学校側と一緒に案を作っていた例もある。また、高等学校課の指導主事が中に入っていく、一緒に案を作っていくよう考えている。
委員	卒業後の出口が重要であり、企業経営者がどんな人材を欲しがっているかという視点を踏まえた教育課程の編成は重要と考える。
事務局	どういう人材を育成するか、どういう人材が求められるかのリサーチも加味しながら行いたい。
委員長	学科をコースに変更しても、模様替えしただけで、中身があまり検討されていないのではないかと懸念している。根本的に教育内容を考え直す必要がある。また、単位制高等学校の課題をどう克服していくのかという点の詰めが不足していると思う。そういう点を調べたりすることも必要。仮に単位制を採用するのであれば、過去の例を考えて取り組んでもらいたい。以上、2 点が欠けていると考える。
教育長	今回、改編の実施時期を H24 年度に延ばすのは、違う視座から検討し、拙速な改編にならないようにするため。今のご意見も踏まえてよい計画にしたいと思う。
委員長	本事件の議決を求める。賛成する委員は挙手をお願いする。
各委員	全員挙手
委員長	本事件を原案のとおり議決する。

(5) 議決事項
付議第1号

原案のとおり議決